

研究課題番号	4-2101
研究課題名	生殖細胞を活用した絶滅危惧野生動物の生息域外保全
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	村山 美穂

1. 委員の指摘及び提言概要

絶滅危惧動物の域外保全の成功率を上昇させることに寄与する重要な研究成果があがりつつあるものと、評価する。ツシマヤマネコとヤンバルクイナを研究対象としているが、他の絶滅危惧動物にも応用が期待できる。学術誌への発表、web siteでの公開、国民との対話等にも実績がある。現場に適用する際の生殖組織の輸送方法や保存方法に関して、行政、研究機関等の実現可能な仕組みの提案まで示されることを望む。本研究の中で行われている個体群存続可能性分析（PVA）は、さらに検討されたい。

2. 採点結果

評価ランク：S